

第5回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（第2期）（会議要録）

◆協議会の名称 平成28年度 第5回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（第2期）

◆開催日時 平成28年11月25日（金）19時00分～20時10分

◆開催場所 嘉麻市役所碓井庁舎 会議室1

◆公開又は非公開の別 公開

◆非公開の理由 （会議を非公開とした場合のみ）

◆出席者

（委員）

井原 徹会長 坂田 勲副会長 村上曙生委員 大山征男委員 田中 穆委員 芹野彌生委員

野見山利三委員 有吉直子委員 野上真吾委員 藤井幹裕委員 廣瀬公彦委員

※欠席委員 1人 松岡光昭委員

（事務局）

総務財政及び市民環境担当総合調整監 秋吉俊輔

庁舎・交通体系対策室 橋垣康秀、柴田英樹、山口宏彰、塚本明弘  
堤亮介、犬丸亮子

※欠席 小林純一

（設計業者）

株式会社久米設計九州支社

◆傍聴人数 3人

◆議題及び協議の内容

### 1 会長あいさつ

- ・それでは第5回の審議会を開催したいと思います。

### 2 報告

（1）資料13 藤井委員からの質問に対する回答について

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

- ・（委員）新庁舎に関し、構造体I類、A類、甲種の基準となっているが、山鹿市役所も同様か。

⇒（事務局）手元資料がないので次回以降に詳しい内容は報告したい。

- ・（委員）新庁舎は、I類が該当するとなっているが本当にそうなのか。

⇒（事務局）防災拠点となる庁舎を考える際に構造体の大きな補修があってはいけないのでI類を採用した。飯塚市もI類、A類、甲種を基準としている。

- ・（委員）嘉麻市の庁舎の最大の目的は分散している庁舎を集約し、経費をできるだけ一括

してコストを将来残さないようにすることが基本的な考え方である。安全性とコストの問題は矛盾が生じるところなので、コストをかけてでも安全性を確保しなければいけないという説明をちゃんとして欲しい。

・(会長) 答申を最大限尊重し、耐震対策について各専門機関等との様々な観点から比較検討した結果を踏まえ市長判断されたものと思う。

⇒(事務局) 財政状況の有無にかかわらず最低限、基本的な施設の堅牢性は他の財源を捻出してでも確保せざるをえない。免震、耐震を比較した時、後世に残す災害の拠点施設として大規模災害にも耐えうる庁舎建設をしたい。免震と耐震の構造に関する内容は、非常に専門性が高いのでお答えできない部分については、設計事務所やコンサルタントに確認しながら回答していきたい。

・(委員) 6月に委嘱を受けたがその時構造の話が基本的になかった。いつ免震と決まったのか。

・(会長) 3月の議会の中で予算として確保されていて、既に決まっている。

・(委員) 山田、嘉穂に建てる予定の支所はⅢ類、B類、乙類になるのか。

・(会長) これに関する質疑は文書にてお願いしたい。

・(委員) 第1回審議会で、財政計画における収入見込みの地方消費税交付金10%の予定が8%に据え置きになったので修正された財政計画の資料提出を待っているが。

⇒(事務局) 財政計画は、企画財政課で作成中なので提示できる段階で提出したい。

### 3 議事

(1) 第3回、第4回審議会の会議録等の承認について

※会議録：答申までは情報開示しない。答申後は開示対象資料とする。

※会議要録：審議会で内容の承認後、公開とする。

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

・(委員) 各地域の市民にとって支所はとても大事なもののなのに、ワークショップで聞いた市民の意見に対し、行政が決めたものは変えないと私は捉えたがもう1度説明をお願いしたい。

⇒(事務局) 自由なご意見を出して頂き、行政的な括りでの話ではなく、嘉麻市に対する思いを言って頂きたいと考えている。その意見を軽く扱うようなことは決してない。

・(委員) 支所を造るとき、機能やあり方について意見が採用される場合もあると捉えていいのか。

⇒(事務局) 支所のあり方等については、地域整備等に関する協議会の設置を模索しており、ワークショップの意見を集約し、報告していきたいと考えている。広くこの問題について関心を持っていただき様々な意見を求めているところである。

(2) 資料14 新庁舎建築設計(案)に関する審議資料

・事務局と設計業者から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

・(委員) B C Pは建物によって法的に最低確保すべき日数が決まっているのか。

⇒(設計業者) 国交省の指針がある。

・(委員) 4階が執行部と災害対策本部となっているが、災害対策は1階で行わないと機能しないのでは。

⇒(事務局) 利用される市民の利便性を考え、窓口部門を可能な限り低層階に配置したいと考えている。災害対策そのものは職員や災害関係機関が一堂に集まる時もあるが4階に設置しても支障はなく、どちらかという日頃の市民利用の部分を最優先に考えたものである。

・(委員) 災害発生時に1階のフロアが使えるような考え方は出来ないのか。

⇒(事務局) 災害発生時は全体の指揮統括するような職員が集まり、他の職員は現場等で活動するという状況となるので、庁舎内には少数の職員が残るという感じになる。

・(委員) 支所にも防災機能を持たせて欲しい。

⇒(事務局) 災害対策は一カ所で総合的に統括して指揮監督するのが原則である。ただし、現場指揮者の判断というのも大きな裁量があるところであり、嘉麻市全体の防災対策の構築について、しっかり検討していきたい。

・(委員) 電源装置は分電盤が壊れた時、4階と各支所との間に特別な連絡方法はあるのか。

⇒(事務局) 防災無線等様々な情報通信網を活用しているので、電力の遮断が生じた時でも一定程度の情報伝達は出来る。電源の問題は自家発電装置等について災害対策を含め、全体計画を立てていきたい。

・(委員) 5階建だと駐車場から庁舎まで遠くなるのでは。高齢者や身障者の方など逆に歩く距離が長くなるのでは。その駐車場を含めた配置図はまだ出ないのか。

⇒(会長) 原則的に車いすの駐車場は建物周辺で、雨の日の事を考えて屋根のかかるところに設置する。また、子どもやベビーカー等も含めて車いすと同等に扱うので駐車場のレイアウトでカバーできると考える。

・(委員) 高層階になると人の目が届かないので市民の共通財産の情報はセキュリティ上しっかり管理して欲しい。

・(委員) 免震装置はメーカーによって機能が違ったりしないのか。機能が高ければ使用本数は減らせるのか。

⇒(事務局) 免震装置は柱の本数に応じた数が必要。

#### 4 その他

##### (1) ワークショップの実施について

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

・(委員) 防災無線などで地域ごとにPRをすべき。また嘉麻市の現状等について情報提供が

必要と考える。

(2) 次回審議会の開催について

- ・第6回新庁舎施設整備等審議会は、16時からの開催を予定

5 次回の開催日程

日時 平成28年12月16日(金) 16時から  
場所 碓井庁舎2階 会議室3

【20時10

分閉会】